



学校だより

教育は愛

令和6年2月29日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

◆ 3月は、1年間の総まとめと 4月からの新生活の準備期間です！

3月は1年間の総まとめであり、別れの月だと言われます。確かにその通りですが、もうひとつ、3月には、4月から始まる新生活に向けて必要な力を確かめ、調整し、準備する日々でもあります。

各学年では、4月の始業式を意識した準備も着々と進めているところです。

また、学級増に向けて、特別教室の転用についても具体的に取り組み始めます。

3月は、17日間、6年生は15日間です。この貴重な日々を子どもたちにとって最高の日々となるよう全力を尽くします。

保護者・地域の皆様、今月もご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



◆ 6年生は、「卒業生」へ！

3月に入ると、6年生は「卒業生」と呼ばれるようになります。これは、卒業式の練習で「卒業生、起立」などと号令が掛けられ、特別な存在として扱われるようになることに所以しています。

今、卒業生と毎日、会食をさせていただいています。話題は、中学校で入部したい部活動や将来の夢など、多岐に及んでいます。

瞳を輝かせながらお話ししてくれる姿には、優しさとあたたかい心を感じます。

卒業生の皆さんの素敵なところ、それは人としての優しさです。その優しさの源は、各ご家庭の愛にあります。

人は人の優しさに感動し、感謝しながら自分の心を優しくしていきます。そして、自分の心を優しくした人はさらに他の人を優しくし、大きな愛をはぐくみます。

愛と優しさの溢れるさいたま市立本太小学校の卒業式は22日（金）です。

校長 千葉 裕(ちば ひろし)

◆ 社会力を身に付けさせる！

社会力というのは、「人と人がつながって社会をつくっていく力、社会の運営に積極的に関わっていく力」です。

授業でも、子どもたち同士が協働する場面を意図的に取り入れ、友達と関わって、新しい解を見つけ出す学習を進めています。

また、授業以外でも見守り活動をしてくださっている方々への挨拶や友達と協力して行う給食の準備、清掃活動なども全て社会力の育成に結び付いています。

社会力は、子どもたちが未来社会で生き抜く上でのキーポイントです。この力の育成こそが教育の究極的な目的だと考えます。



◆ 『世界基準の英語力』(時事通信社)

本市前教育長の細田眞由美先生が2月に出版された本の一節をご紹介します。

『静かに行く者は健やかに行く 健やかに行く者は 遠くまで行く』『世界基準の英語力』を子どもたちにプレゼントしたいと願っている、多くの保護者の皆さんへのメッセージは、このフレーズに込めたいと思います。親にできることは、環境をつくることです。幼児期から英語の音に触れる環境をつくり、子どもが自立した学習者に育つよう焦らずじっくりと見守り、時に声かけし持続していくことが大切です。ゆっくりかもしれませんが、子どもは、遠くの目標に向かって確実に歩みを進めていくでしょう』※教育全てに共通する不易の真理です。

「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」～すべては、未来社会を生き抜く子どもたちの幸せのために～